

令和 5 年 度

明石市水道事業上半期の業務状況の報告

明 石 市 水 道 局

目 次

- 1 まえがき
- 2 令和4年度決算の状況
- 3 令和5年度上半期の事業の概要

1 まえがき

地方公営企業法第40条の2第1項の規定により、令和5年度上半期の明石市水道事業の業務量、経営成績、財政状況及び令和4年度決算の状況について報告いたします。

2 令和4年度決算の状況

令和4年度の給水人口は前年度より1,024人増加の305,112人、給水戸数は1,112戸増加の146,207戸となっています。また、年間配水量は32,872,150 m^3 （対前年度比1.1%増加）、年間使用水量は30,963,888 m^3 （同1.3%減少）となり、1日最大配水量は101,760 m^3 （1月9日）で、前年度より990 m^3 の減少となっています。

次に財政面で、収益的収支については、事業収益5,880,819,807円に対し、事業費用は5,417,634,459円で、差引463,185,348円の当年度純利益となりました。

事業収益では、雑収益のうち施設分担金が増加しましたが、給水収益が71,827,268円（1.4%）減少したため、収益全体では、前年度に比べ64,590,000円（1.1%）の減少となりました。

これに対し、事業費用では、修繕費や職員給与費などが減少しましたが、動力費（電気料金）が103,441,599円（29.2%）増加したほか、委託料などが増加したため、費用全体では、前年度に比べ104,913,657円（2.0%）の増加となりました。

なお給水収益の減少は主に小口径（主に一般家庭用）における使用水量の減少によるもので、動力費の増加は主にウクライナ危機等による資源価格高騰に伴う燃料費調整額の増によるものです。

次に、資本的支出では、第3次整備事業として516,315,324円をもって、魚住浄水場新管理棟新築工事など浄配水施設及び管路の整備・拡張などを行いま

した。また、老朽化した配水管の布設替を行う老朽管整備事業に 712,873,746 円、その他の建設改良事業等を含めた建設改良費全体では、1,372,715,112 円を執行し、これに企業債の元金償還額 712,468,925 円を加えた総額 2,085,184,037 円（うち仮払消費税及び地方消費税 118,478,500 円）を執行しました。

これらの資本的支出の財源には、企業債及び工事負担金などの資本的収入 822,888,982 円（うち仮受消費税及び地方消費税 3,867,598 円）を充てましたが、不足する額 1,262,295,055 円は、減価償却費等の損益勘定留保資金で全額補てんしております。

なお、決算の概要は次のとおりです。

(1) 業務量の状況		(前年度比較)
期末給水人口(※)	305,112人	0.3%
年間有収水量	30,963,888m ³	△1.3%
普及率	99.994%	
(2) 収益的収支 (税抜き)		(前年度比較)
水道事業収益	5,880,819,807円	△1.1%
水道事業費用	5,417,634,459円	2.0%
当年度純利益	463,185,348円	
(3) 資本的収支 (税込み)		(前年度比較)
資本的収入	822,888,982円	112.2%
資本的支出	2,085,184,037円	3.7%
収支過不足額	△1,262,295,055円	

以上が決算の状況であります。

令和4年度決算報告書

収益的収入及び支出

収入（税抜き）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
水道事業収益		5,880,819,807	
	営業収益	5,151,655,369	
	営業外収益	728,869,531	
	特別利益	294,907	

支出（税抜き）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
水道事業費用		5,417,634,459	
	営業費用	5,292,473,352	
	営業外費用	123,562,112	
	特別損失	1,598,995	

資本的収入及び支出

収入（税込み）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
資本的収入		822,888,982	
	企業債	749,200,000	
	工事負担金	40,920,000	
	他会計負担金	31,145,400	
	固定資産売却代金	1,623,582	

支出（税込み）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
資本的支出		2,085,184,037	
	建設改良費	1,372,715,112	
	企業債償還金	712,468,925	

令和5年度上半期損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(税抜き 単位：円)

費用の部		収益の部	
水道事業費用	2,335,570,523	水道事業収益	2,876,855,807
営業費用	2,273,844,700	営業収益	2,564,211,427
原水及び浄水費	984,314,551	給水収益	2,476,919,924
配水及び給水費	297,535,208	受託工事収益	2,187,514
受託工事費	3,589,910	その他営業収益	85,103,989
業務費	139,865,530	営業外収益	312,503,133
総係費	63,975,875	受取利息	179,790
減価償却費	780,918,626	他会計補助金	0
資産減耗費	3,645,000	長期前受金戻入	209,705,126
その他営業費用	0	雑収益	102,618,217
営業外費用	58,587,528	特別利益	141,247
支払利息及び 企業債取扱諸費	58,587,528	固定資産売却益	0
雑支出	0	過年度損益修正益	141,247
特別損失	3,138,295	その他特別利益	0
固定資産売却損	0		
過年度損益修正損	3,138,295		
固定資産除却損	0		
その他特別損失	0		
当期純利益	541,285,284		
計	2,876,855,807	計	2,876,855,807
当期末処分利益剰余金	891,154,452	当期純利益	541,285,284
		前年度繰越利益剰余金	349,869,168
		その他未処分利益剰余金 変動額	0
計	891,154,452	計	891,154,452

令和5年度上半期貸借対照表

(令和5年9月30日)

(税抜き 単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
固 定 資 産	33,340,506,793	固 定 負 債	7,166,236,374
有形固定資産	29,923,919,464	企 業 債	6,029,878,624
土 地	2,956,972,387	引 当 金	1,136,357,750
建 物	813,919,491	その他固定負債	0
構 築 物	22,825,897,764	流 動 負 債	947,100,211
機 械 及 び 装 置	2,973,724,181	企 業 債	331,302,286
車 両 運 搬 具	2,076,387	未 払 金	186,935,353
工 具 器 具 及 び 備 品	14,049,084	前 受 金	58,110,460
建 設 仮 勘 定	337,280,170	その他流動負債	370,752,112
無形固定資産	90,357,329	繰 延 収 益	5,358,028,886
施 設 利 用 権	90,357,329	長 期 前 受 金	5,358,028,886
投資その他の資産	3,326,230,000	資 本 金	18,601,704,014
投 資 有 価 証 券	0	資 本 金	18,601,704,014
出 資 金	3,000,000	剰 余 金	6,130,442,552
そ の 他 投 資	3,323,230,000	資 本 剰 余 金	1,496,288,100
流 動 資 産	4,863,005,244	利 益 剰 余 金	4,634,154,452
現 金 ・ 預 金	3,302,190,629		
未 収 金	483,625,425		
貸 倒 引 当 金	△ 2,400,000		
有 価 証 券	0		
貯 蔵 品	34,419,317		
前 払 費 用	0		
前 払 金	879,721,648		
その他流動資産	165,448,225		
計	38,203,512,037	計	38,203,512,037

3 令和5年度上半期の事業の概要

令和5年度上半期の業務状況は、前年度同期と比べて給水人口で1,317人増加の305,861人、給水戸数では352戸増加の146,207戸となっています。また、配水量は125千 m^3 (0.8%)増加の16,308千 m^3 となり、有収水量は168千 m^3 (1.1%)減少の15,386千 m^3 となっています。

次に経営面では、営業収益の主に給水収益で22,699,622円 (0.9%)減少したものの、営業外収益の長期前受金戻入で209,705,126円 (皆増¹)、雑収益で18,280,210円 (21.7%)、それぞれ増加したため、事業収益全体で2,876,855,807円 (消費税等抜き) となりました。

一方、営業費用では原水及び浄水費で51,981,455円 (5.0%)、配水及び給水費で43,687,367円 (12.8%)、それぞれ減少したものの、総係費で14,838,218円 (30.2%)、減価償却費で780,918,626円 (皆増²)、それぞれ増加したことなどにより、事業費用全体で2,335,570,523円 (消費税等抜き) となりました。

以上の結果として、当期純利益は541,285,284円 (消費税等抜き) となりました。

建設改良面では、水の安定供給を図るため、浄配水施設の整備・改修、老朽管の布設替工事など、必要となる施設の充実化に鋭意努めました。

以上のように、本年度上半期は、収入が減少し費用が増加したため、当期純利益は前年度を下回る状況となりました。

¹ 令和5年度上半期の業務状況報告より、当年度長期前受金戻入見込額の半額を計上。(変更)

² 令和5年度上半期の業務状況報告より、当年度減価償却費見込額の半額を計上。(変更)

令和4年度－令和5年度上半期実績比較

区 分	令和4年度上半期	令和5年度上半期	比 較
給 水 人 口	304,544 人	305,861 人	1,317 人
給 水 戸 数	145,855 戸	146,772 戸	917 戸
普 及 率	99.993 %	99.994 %	0.001 点
配 水 量	16,183 千m ³	16,308 千m ³	125 千m ³
有 収 水 量	15,554 千m ³	15,386 千m ³	△168 千m ³
上半期増加給水人口	456 人	749 人	293 人
上半期増加給水戸数	760 戸	565 戸	△195 戸